

著書 (2022～)

齋藤光正(分担執筆)

レプトスピラ症

内科学 改訂 12 版 p376-377

2022 年 朝倉書店

齋藤光正、丸岡司、二階堂靖彦、宮原敏(分担執筆)

レプトスピラ感染症(Weil 病)

別冊 領域別症候群シリーズ No.24 腎臓症候群(第 3 版)Ⅲ p326-329

2022 年 日本臨牀社

齋藤光正、宮原 敏、安藤恒平、善家雄吉(分担執筆)

CLAP による骨軟部感染抑制の実際/ ゲンタマイシンの作用機序と薬剤耐性機構

Monthly Book Orthopaedics 35 巻 8 号 p9-14

2022 年 全日本病院出版会

イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ 第 2 版 齋藤光正

2021 年 南山堂

レプトスピラ感染症 小児疾患診療のための病態整理 1 第 6 版 齋藤光正

2020 年 東京医学社

インフル休みは常識に 産業医が診る働き方改革 齋藤光正 著者:産業医科大学編

2019 年 西日本新聞社

イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ 齋藤光正

2018 年 南山堂

系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 4 感染症学 改訂 13 版

著者:吉田眞一、南嶋洋一、永淵正法、齋藤光正、大野真治

2018 年 医学書院

日常診療に役立つ小児感染症マニュアル 齋藤光正(分担執筆)

2017 年 東京医学社 p25-30(ジフテリア菌)

戸田新細菌学(34 版) 著者:吉田眞一、柳 雄介、吉開泰信

2013 年 南山堂 改訂第 34 版 p60-114(細菌の生理・生化学)

産業保健マニュアル [改訂第 6 版] 著者:和田 攻、森 晃爾

2013 年 南山堂 改訂第 6 版 p303-330(14. 生物的健康障害要因とその対策)

産業保健 21 谷口初美

2013 年 独立行政法人労働者健康福祉機構 vol72: p24-26(感染症対策の要諦)

翻訳レビンソンの微生物学・免疫学 [原書 11 版] 監訳:吉開泰信、西山幸廣

2012 年丸善出版 東京 p65-88(抗菌薬:作用機序、抗菌薬:耐性)

細菌性膣症・トリコモナス症・膣カンジダ症 吉村和晃、福田和正、蜂須賀徹、谷口初美

2012 年, vol40, no.3 p281-287, Medical Technology.

災害被災地におけるヘドロとがれき処理に関する感染症および有毒ガス発生対策

~事業所および作業員が注意すべき事項~ 谷口初美

2012 年 日本ペストコントロール協会 vol7, no159 p7-10, ペストコントロール誌「機関誌」.

労働衛生工学とリスク管理 谷口初美 2009 年 (社)日本作業環境測定協会

第 3 編生物的有害因子のリスク管理 第 1 章生物的因子の有害発生機序 176-190

第 3 章生物因子のリスク削減、リスク管理およびリスクコミュニケーション 201-206

第 4 章生物因子にかかる緊急リスクへの対応 207-215

労働衛生工学とリスク管理 谷口初美 2009 年 (社)日本作業環境測定協会

第 3 編生物的有害因子のリスク管理 第 1 章生物的因子の有害発生機序 176-190

第 3 章生物因子のリスク削減、リスク管理およびリスクコミュニケーション 201-206

第 4 章生物因子にかかる緊急リスクへの対応 207-215

イギリス発 産業医学の ABC 南山堂 David Snashall, Dipti Patel 編 2008 年出版 訳協力

p115-p125 第 14 章職業感染

p169-174:付録 1・2 職業関連の動物由来ヒト感染症

戸田新細菌学 改訂 33 版 吉田真一、柳雄介、吉開泰信 2007 年 南山堂 東京

6 滅菌と消毒 134-149

7 化学療法 150-180

化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック第 1 巻

谷口初美 2007 年 (社)日本作業環境測定協会

1.2.1.1.7 労働の場における生物的因子管理の必要性および管理の対象となる因子の種類 37-40

2.1.2.2 労働の場における生物的因子による危険有害性 242-248

2.1.7 生物的因子の有害性発現機序 324-333

化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック第 2 巻

石松維世、谷口初美 2007 年 (社)日本作業環境測定協会

4.1.5 リスク評価の実際 194-201